

市民農業講座

さっぽろ農学校

入門コース 令和5年度受講生募集



市民農業講座

さっぽろ農学校
とは………

—— 新しい都市農業のかたちを共に考え、学び実践する場 ——

市民農業講座「さっぽろ農学校」は、札幌市民を対象に、農業と市民をつなぐ役割を担い、地元の農業を支え、食と農の大切さを発信できる人材の育成を目的として、平成13年にスタートしました。

家庭菜園や市民農園を楽しんでいる方や、これから野菜づくりを楽しみたい方を応援するための「入門コース」と、農業に関する知識や栽培技術の習得を目指し、圃場での演習と講義を行う「専修コース」があります。

▲入門コースの修了生は講義で得た知識をもとに家庭菜園や市民農園をより充実したものに行っているほか、農業に興味や参入意欲のある方の中には、さらなるステップアップとして、翌年に専修コースに進む方もいます。

▲専修コースの修了生は、様々な場面で活躍しており、農業者として就農した方、就農研修に取り組む方、NPO法人を立ち上げ様々な方面から農業に取り組む方、農業ボランティアや農体験リーダー(※)として、子どもたちの農業体験の講師として活躍する方など、多くの修了生が農業と関わりのある活動を行っています。

※ 農体験リーダーとは 市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コースの修了生など、一定の農業技術や知識を習得した市民の方を「農体験リーダー」として認定し、小中学校の「総合的な学習の時間」やクラブ活動等の課外活動等に派遣する制度です。



さとらんど

指定管理者

さとらんどfanコンソーシアム

代表企業 横浜植木株式会社

令和5年度さっぽろ農学校・入門コース 募集要項

- ◆募集対象 野菜栽培に関心や興味を持つ15歳以上の方。
- ◆開催期間・回数・時間 開催期間 令和5年4月9日(日)～令和5年8月27日(日)(毎回 日曜日開催)
開催回数 18回(1回2講義。計36講義)※具体的なスケジュールは別項に記載。
時 間 第1講 9:30～10:30 第2講 10:45～11:45
- ◆募集人数 コース(全期間)受講者 70名
- ◆会 場 サッポロさとらんど(札幌市東区丘珠町584番地2)さとらんどセンター視聴覚室
- ◆受講料 コース(全期間)受講者(36講義の資料代も含む) 8,000円
- ◆受講料の納入方法 コース(全期間)受講者は、さとらんどセンターの受付(窓口)に直接お支払い下さい。詳細は返信ハガキでお知らせします。
※一旦納められた受講料につきましては、お返しできませんのでご了承下さい。
- ◆応募方法 往復ハガキに氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、返信先を必ず記入の上(往復ハガキ記入例参照)、お申し込み下さい。
- ◆申込期間 令和5年2月10日(金)～令和5年3月15日(水)(必着)
- ◆申 込 先 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2
サッポロさとらんど「さっぽろ農学校入門コース」係
- ◆受講者の決定 応募者多数の場合は、抽選により受講者を決定します。
受講者が決定次第、返信ハガキにて通知します。
- ◆講座の修了 講座の7割以上を出席された方に「受講修了証」を授与します。
- ◆個人情報の保護 応募に伴いご提供頂く個人情報は、農学校入門コースの募集に限定して使用します。
- ◆その他 新型コロナウイルス感染拡大や災害等により休講した場合の対応について
○令和5年4月時点で、新型コロナウイルスの感染状況等により、開催の中止、または受講者数の制限等を実施することがあります。
コース(全期間)応募者数が制限人数以上の場合は抽選で受講者を決定します。
○講義スケジュールに従って実施し、休講した場合は休講分の補講は行いません。
○休講した場合は、コース(全期間)受講者には、1日当たり500円の受講料を休講した日数分返金致します。ただし、返金額の上限は8,000円とします。
また、返金は、原則として講義最終日(8月27日)以降に一括で行います。
○受講者の都合により欠席された場合は返金致しませんのでご了承ください。
※テキストはお渡しいたします。

令和5年度 さっぽろ農学校入門コース講義内容とスケジュール

回	月 日	課 題 名	内 容	講 師
1	4月9日	開講式		
		「野菜作りの基礎」その1	植え付け時期、苗の選び方、保温・低温対策	大居正一
		「野菜作りの基礎」その2	土づくりと肥料のやり方	大居正一
2	4月16日	「たまねぎ・ながねぎの栽培」	たまねぎ、ながねぎ、こねぎの栽培方法	柳山浩之
		馬鈴しょの栽培	馬鈴しょの栽培方法	奥山 誠
3	4月23日	「とうもろこしの栽培」	とうもろこしの栽培方法	中野雅章
		「根菜類の栽培」その1	にんじん、ごぼうの栽培方法	安達英人
4	5月7日	「ナス科野菜の栽培」その1	トマト、なす、ピーマン、カラーピーマン等の栽培方法	柳山浩之
		「ウリ科野菜の栽培」その1	すいか、メロン、きゅうり、かぼちゃ等の育苗、定植、着果管理方法	柳山浩之
5	5月14日	「サツマイモの栽培」	サツマイモの栽培方法	奥山 誠
		「豆類の栽培」	枝豆、さやいんげん、さやえんどうの栽培方法	奥山 誠
6	5月28日	「葉茎菜類の栽培」その1	レタス類、ほうれんそう等、葉物野菜の栽培方法	安達英人
		「根菜類の栽培」その2	だいこん、カブ、ラディッシュの栽培方法	安達英人
7	6月4日	「葉茎菜類の栽培」その2	キャベツ、白菜、ブロッコリー、カリフラワー等の栽培方法	柳山浩之
		「アスパラガスの栽培」	アスパラガスの栽培方法	中野雅章
8	6月11日	「プランター栽培」	ベランダや狭い空き地での栽培方法	奥山 誠
		「花栽培で生活に潤い」	庭やプランターで楽しむ易しい花の栽培方法	吉岡宏直
9	6月18日	「人にやさしい病害虫防除方法」	耕種的、物理的、生物的、自然派農業,その他による防除方法	奥山 誠
		「小果樹類の栽培」	ブルーベリー、ハスカップ等の栽培方法	杉浦輝陽
10	6月25日	「珍しい根菜類の栽培」	ショウガ、キクイモ、アピオス、サトイモ等の栽培方法	安達英人
		「温暖化に対応した野菜の栽培」	ゴーヤ、オクラ、落花生、ゴマ等の栽培方法	安達英人
11	7月2日	「ウリ科野菜の栽培」その2	すいか、メロン、きゅうり、かぼちゃ等の誘引、収穫方法	柳山浩之
		「ナス科野菜の栽培」その2	トマト、なす、ピーマン、カラーピーマン等の整枝、摘葉等これからの管理	柳山浩之
12	7月9日	「病害虫防除」その1	これからの留意すべき病害対策(主な病気の種類とその防除方法)	池田 信
		「病害虫防除」その2	これからの留意すべき害虫対策(主な害虫の種類とその防除方法)	池田 信
13	7月16日	「ハーブを活かした楽しい生活」	札幌のラベンダーとハーブ類の活用方法	堅木和枝
		自家製堆肥(コンポスト)の実際	生ごみコンポストのつくり方・利用方法	未定
14	7月23日	「健康野菜の栽培」	ヤーコン、ピーズ、ツルムラサキ、ロマネスコ等の栽培方法	安達英人
		「秋野菜の収穫、貯蔵方法」	野菜の生理生態からみた適期収穫、貯蔵方法	安達英人
15	7月30日	「有機農業の実際」その1	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ	大塚裕樹
		「有機農業の実際」その2	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ	大塚裕樹
16	8月6日	「夏秋に定植する野菜類の栽培」	いちご、にんにくの栽培方法	奥山 誠
		「多年生野菜の栽培」	にら、みつば、みょうが、西洋わさびの栽培方法	奥山 誠
17	8月20日	「農産加工事例」その1	家庭で出来るトマトソース、野菜ジャムの作り方	江田美智江
		「農産加工事例」その2	家庭で出来る漬け物の作り方	江田美智江
18	8月27日	「北海道の山菜」	タラノ芽、ぎょうじゃにんにく、うど等の栽培方法	奥山 誠
		「質問に答えて、総復習」	これまでに出了れた質問に答えて、総復習	高橋恒久
		閉講式		

講 師 名	経 歴 等		専門分野
	元 職	現 職	
中 野 雅 章	北海道立花・野菜技術センター場長	—	野菜
柳 山 浩 之	北海道首席普及指導員	ホクレン野菜果実花き課 特任技師	野菜
池 田 信	北海道上席普及指導員	住友化学株式会社アグロ事業部技術顧問	病虫害防除
吉 岡 宏 直	北海道普及指導員	農業経営者	花き
杉 浦 輝 陽	北海道普及指導員	岩見沢市農業技術専門員	果樹
大 居 正 一	北海道普及指導員	サッポロさとらんど市民農園栽培相談員	野菜
奥 山 誠	北海道普及指導員	サッポロさとらんど市民農園栽培相談員 (予定)	野菜
高 橋 恒 久	北海道普及指導員	サッポロさとらんど職員 (予定)	野菜
江田 美智江	北海道普及指導員	—	農産加工
安 達 英 人	雪印種苗 (株) 北海道研究農場研究員	渡辺農事 (株) 北海道営業所所長	野菜
大 塚 裕 樹	—	大塚ファーム社長 (農業経営者)	野菜
堅 木 和 枝	—	Herb & Glass K's Factory 主宰	ハーブ

往復ハガキ記入例

往 信

往復はがき
0107-0880

往信

札幌市東区丘珠584番地2
サッポロさとらんど
「さっぽろ農学校」
入門コース係

ここには何も
記入しないで
ください

〈返信はがきの裏面〉

返 信

往復はがき

返信

さっぽろ農学校
入門コース受講希望

フリガナ
氏名 ○○○○○○
年齢 ○○
住所 ○○○○○○
○○○○○○
電話番号 ○○○○

返信先の住所
返信先の氏名

〈往信はがきの裏面〉

会場への交通



■地下鉄とバスで

- ① 地下鉄東豊線「環状通東」駅より
中央バス 東61番「中沼小学校通」行きに乗車 (約20分)。
 - ② 地下鉄南北線「北34条」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車 (約20分)。
 - ③ 地下鉄東豊線「新道東」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車 (約15分)。
- ①②③とも「丘珠高校前」停で下車、徒歩10分。
※東76には夏期のみ一部の時間帯にさとらんど経由便があります。

■乗用車で

- ① 創成川通 → 環状通 → 札幌当別線
- ② 北1条通 → 国道275号 → 雁来篠路連絡線

お問い合わせ先



〒007-0880 札幌市東区丘珠584番地2
TEL 787-0223 FAX 787-0947